

# 令和4年度 決算報告書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

\* 千円未満四捨五入

(1) 経常収益は、前期より2115万8千円減の2881万2千円でした。大幅減の要因は、前年度に1250万円の遺贈、クラウドファンディングなどによる寄付879万8千円といった単年度限りの大型収入があったことです。

(2) 経常収益の主な内訳は

- ① 基本財産運用益 債券などの受取利息計710万9千円
  - ② 受取会費 毎日新聞社、東京放送、毎日放送の各賛助会員から計912万5千円
  - ③ 日本財団による助成金881万円
  - ④ 寄付金(継続寄付会員による寄付計121万3000円、朝日生命からの寄付54万円)計175万3千円
  - ⑤ 武蔵野市認知症相談の事業収益151万8千円
  - ⑥ 財団報の売上47万3千円
- となっています。

(3) 経常費用は事業費が2209万2千円、管理費が397万円の計2606万2千円で、前期比746万1千円減となりました。常務理事が昨年6月から、事務局次長が同10月からともに毎日新聞社からの出向となり、役員報酬などの人件費が大幅に減ったこと、順天堂大学への委託費の見直しなどが要因です。主な経常費用(事業費、管理費合算)は諸謝金1043万9千円、賃借料528万2千円などです。

(4) これらの結果、経常収益から経常費用を差し引いた当期経常増減額は、評価損益等調整前で前期より1369万7千円悪化し、274万9千円のプラスとなりました。一方、保有債券すべての時価が原価を下回ったため、評価損益等調整後で見ると前期比2444万4千円悪化し、881万3千円のマイナスでした。

(5) 経常外収益、及び経常外費用はともにありませんでした。

(6) 当期末の資産は、流動資産が前期比571万7千円減の3100万2千円となっています。一方、固定資産は基本財産が前期比で1260万2千円減の5億3100万2千円となりました。固定資産として、特定資産「電話相談事業積立資産」を865万円上積みし、1701万8千円としました。資産合計は5億8411万2千円、負債合計は325万8千円で、この結果正味財産合計は前期比881万3千円減の5億8085万4千円となっています。